



## ニュースレター 2026

特定非営利活動法人 ナノ構造ポリマー研究協会

### 目次

### 2025年度活動概要

#### 1,2025年度活動概要

#### 2,2026年度理事会

#### 3,代表理事挨拶

#### 4,トピックス

#### 5,2025年度研究会行事

#### 6,2025年度

##### 会計報告

##### 会員名簿

##### 法人会員名簿

##### 編集後記

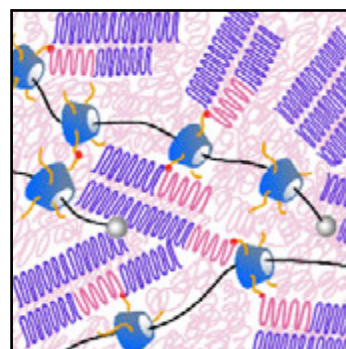
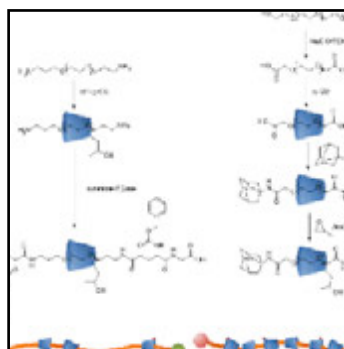
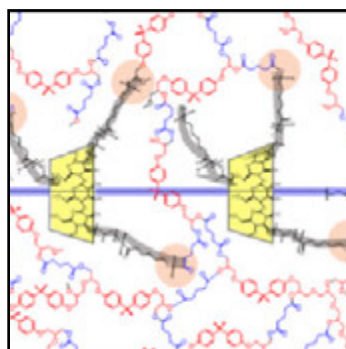
日時	行事
2025/04/16	理事会
2025/5/13	総会
2025/04-2026/03	運営委員会

2013年のNIC報告書「グローバル・トレンド2030」は、中国の台頭、米国の相対的衰退（国力最大ながら「アメリカ・ファースト」を掲げ、格差拡大、資源争奪、環境問題に直面）、そして多くの予言が現在の状況を正確に予測していたことを明らかにしています。2026年は、米国がベネズエラ大統領を拘束し、「国際法に基づく支配」から「力に基づく支配」へのパラダイムシフトが顕著になった年です。この転換点は、昨年末に発表された米国政府の「国家安全保障戦略（NSS）」です。同戦略は、アメリカによる世界への関与を整理し、西半球（南北アメリカ大陸とその周辺地域、グリーンランドを含む）を最優先事項としました。トランプ大統領はイランとの軍事衝突を開始しました。

ナノ構造ポリマー分野は、サステナブル化と高機能化が融合し、急速に発展しています。特に注目されるのは以下のテーマです。1. 自己修復ポリマー：ビトリマーなどの再加工可能な熱硬化性樹脂が注目されています。2. CO<sub>2</sub>由来ポリマー：空気中のCO<sub>2</sub>から高性能ポリマーを作る研究が急進展しています。3. AI×ポリマー設計：ここ数年で急激に伸びています。4. セルロース・ナノファイバー系：日本企業・大学も強みを持つ領域です。今後5～10年で重要になりそうな方向性は、AI設計ポリマー、自己修復材料、電池・半導体向け高分子、CO<sub>2</sub>循環型ポリマー、生体融合ポリマー（医療・人工臓器）です。ナノ構造ポリマーは、化学、AI、エネルギー、半導体、医療、環境工学など、様々な分野の交差点に位置しています。

ナノ構造ポリマー研究協会では、運営に関しては、4月16日理事会、5月13日に会員総会、月に1度の運営委員会を12回開催した。イベントとしてはナノ構造ポリマー研究会は9回(nano webinarを統合)、212名の参加者（昨年は214名）、TPE技術研究会は5回、94名（66名）、マイクロ・ナノ加工研究会は3回、55名（62名）、totalで361名（昨年342名）の参加を得た。続いて、主な運営関係の数字をあげる。正会員数は36名、(2025/3/31) 法人会員数は13社、決算は当期収支差額は約37万円の赤字であった。

2026年度は加納代表理事が病状悪化のため、2026年3月末を持って退任、退会された。2026年4月より、中嶋理事が代表理事を受け継がれ、新しい体制で協会を運営される事になった。中嶋TPE研究会会長の代表理事への就任に伴い、李理事がTPE研究会会長に就任された、同時に伊藤浩志前マイクロ・ナノ加工研究会会長が理事を退任された。新たに穂苅遼平会員が理事に就任された。



## 2026年度特定非営利活動法人 ナノ構造ポリマー研究協会理事会（敬称略）



田代 重野 竹村 仙波 李 伊倉 橋本 筆本  
白杵 中嶋 西

野尻、馬場、伊藤(耕)、青木、栗原、宮本、穂苺は欠席。



TAKANAWA Gateway Link Scholars' Hub.

役名	氏名	所属	2026年度
理事	西 敏夫	東京科学大、東京大学名誉教授	名誉会長
理事	中嶋 健	東京科学大学	代表理事
理事	白杵 有光		副代表理事
理事	田代 昌秀	MSA研究会	理事(web/管理/会員)
理事	橋本 貞治	日本ゼオン株式会社	理事(管理/ナノ研/企画/TPE)
理事	李 庭昌		理事(管理/TPE会長)
理事	栗原 一眞	産業技術総合研究所	理事(管理/mnm会長)
理事	重野 譲二		理事(管理/会計)
理事	馬場 孝仁	株式会社ポスティコーポレーション	理事(広報)
理事	野尻 和紀	住友ゴム株式会社	理事(ナノ研/企画)
理事	筆本 啓之	株式会社ブリヂストン	理事(TPE/ナノ研/企画)
理事	青木 憲治	静岡大学	理事(ナノ研)
理事	伊倉 幸広	古河電気工業株式会社	理事(mnm/ナノ研/企画)
理事	仙波 健	京都市産業技術研究所	理事(ナノ研)
理事	伊藤 耕三	東京大学	理事(ナノ研)
理事	穂苺 遼平	産業技術総合研究所	理事(mnm副会長) (新任)
監事	竹村 泰彦	日本ゴム協会・ゴム技術フォーラム	監事
監事	宮本 政義	元金发科技股份有限公司	監事

2026年度のナノ構造ポリマー研究協会の理事会は体制の変更があった。2023年より代表理事を務められた加納さんが病氣療養の為、急遽この3月に退任され、中嶋理事が代表理事に選任された、これに伴い、李理事がTPE技術研究会会長を引き継ぐことになった。昨年度、マイクロ・ナノ加工研究会会長を栗原理事へ引き継がれていた、伊藤理事は諸般の事情により理事を退任され、会員として、マイクロ・ナノ加工研究会名誉会長を見ていただくことになった。その栗原会長も通産省兼務となり、2026年度より、マイクロ・ナノ加工研究会の穂苺さんに理事(マイクロ・ナノ加工研究会副会長)をお願いした。

2025年の交流会はJR東日本が品川近くの高輪に建設中の高輪ゲートウェイシティーのTAKANAWA Gateway Link Scholars' Hub. を見学した。スタートアップエコシステムの核となる4つのビジネス創造施設です。大規模なウェットラボを備えることで、ディープテック領域の研究開発を支援するとともに、デスクやスモールオフィス、イベントが可能なスペースや会員企業の先進的なサービスを体験できる実証実験部屋などを用意しています。

## 「代表理事就任の挨拶」

## 中嶋 健代表理事

(NPO) ナノ構造ポリマー研究協会 会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、今年度より代表理事を拝命いたしました東京科学大学の中嶋と申します。前代表理事の加納様をはじめ、尊敬する諸先輩方からのバトンを受け取り、身の引き締まる思いであります。

ナノ構造ポリマー研究協会は、1988年4月に結成された PMC 研究会を引き継ぐ形で、2001年4月より活動を開始いたしました。2002年7月には NPO 法人としての認証を受け、2023年5月20日には 20 周年記念イベントが開催されましたことは、皆様のご記憶にも新しいところかと存じます。

初代の伊澤楨一様、2012年4月より現在名誉会長でいらっしゃいます西敏夫先生、そして2023年4月より三代目代表理事を務められた加納義久様と、長年にわたり引き継がれてきたこの歴史ある研究協会に、微力ながら貢献していきたいと考えております。

私事ではございますが、1992年4月に修士課程学生として西研究室に配属されて以来、西先生には33年間にわたりご指導を賜ってまいりました。東京大学では学生として、東京工業大学（現 東京科学大学）では助教として、そして東北大学では准教授として、先生のさまざまな活躍を間近で拝見する機会を得られたことは、私にとってかけがえのない財産となっております。

2012年4月に西先生がナノ構造ポリマー研究協会の代表理事に就任された際には、下部組織である TPE 技術研究会の会長を拝命いたしました。それ以来13年間にわたり、TPE 関連分野の多くの皆様と知己を得られたことは、現在の私を形づくる大きな要素の一つです。今回、TPE 技術研究会の会長職は李庭昌様に引き継がせていただきますが、今後も一会員として会の活動に参加させていただければと存じております。

TPE 技術研究会会長を務めていた時期の一時期ではありますが、JST CREST の代表を務めるという栄誉に浴したことがございます。「熱可塑性エラストマーにおける動的ネットワークのトポロジー制御」と題した本プロジェクトを成功裡に導くことができましたのも、TPE 技術研究会法人会員の皆様の多大なるご協力の賜物でした。

その際に強く感じましたのは、大学人のみでは急速に変化する社会のニーズを的確に捉え、そこに対する解決策を見出すことの難しさでした。TPE 技術研究会は、その意味において私自身を大きく成長させてくれた場であったと感じております。

前任の加納様が取り組まれてきた「過去を振り返り、現状を鑑み、未来に向けたナノ構造ポリマー研究協会のロードマップ」につきましても、今後も引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。

nano webinar を吸収する形で継続しているナノ構造ポリマー研究会、TPE 技術研究会、マイクロ・ナノ加工研究会を含め、ナノ構造ポリマー研究協会のすべての活動が、大きく変化する社会情勢を的確に見据え、会員の皆様にとって有益な情報提供の場となるよう努力してまいります。

本年1月に発刊された雑誌『未来材料』において、西先生が「これからどうする？ —主にナノ構造ポリマー材料に関して—」と題したご寄稿をされています。そこには多くの示唆が含まれておりますが、なかでも文章の最後において、我々の (NPO) ナノ構造ポリマー研究協会に言及して下さっている点が、大変印象に残っております。

このたび代表理事に就任させていただきましたが、私自身、なお未熟であると自覚しております。常に報恩謝徳の気持ちを忘れることなく、今後も精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 中嶋 健

特定非営利活動法人 ナノ構造ポリマー研究協会代表理事

東京科学大学 物質理工学院 応用化学系 教授

## 2026年に期待します。

名誉会長 西 敏夫

ナノ構造ポリマー研究協会が旭化成の伊澤慎一博士の音頭で2001年4月に活動を開始してから今年で25周年を迎えます。この間、2012年から筆者、2023年から古河電工フェローの加納義久博士と代表理事が交代しましたが、現在は、皆様のご協力のもと、ナノ構造ポリマー研究会、TPE技術研究会、マイクロ・ナノ加工研究会を中心としてほぼ順調に活動しています。しかし、加納博士は、病気療養のためこの3月に急遽退任され、2012年からTPE技術研究会会長として活躍されてきた中嶋健東京科学大教授が代表理事に就任されました。大幅な若返りですが、中嶋教授は、ネット検索で判明するように国内外の学会、国家プロジェクト参画、産学官連携、ISOなどでも活躍されていて今後の当協会の発展に大いに期待しています。

後任のTPE技術研究会会長には、三井・ケマーズ（デュポン）フロロプロダクツ（株）で専務執行役員研究開発担当を務められた李庭昌博士が就任されました。彼は、ポリマーブレンドやポリマーアロイに詳しく、企業での研究開発、製品化に携わり、国際経験も豊富で今後のTPE技術研究会を盛り立てていただけると期待しています。

一方マイクロ・ナノ加工研究会会長を2013年の発足当時から務められてきた山形大学の伊藤浩志教授（グリーンマテリアル成形加工研究センター長）は、会を大いに活発化されて来たのですが、2025年に副学長に昇任され、J-Peaks（地域中核・特色有る研究大学強化促進事業）担当となりました。しかし、J-Peaksの活動が超多忙とされたため退任されましたが、会員として残っていただけました。

後任として、産総研でマイクロ・ナノ加工の研究開発、製品化などに携わり、研究会でも積極的に活躍されてきた栗原一真博士が会長に就任していただい、ここも若返りました。

2026年は、新しい方々の活躍と今までの方々のご協力の下に当協会が発展して行くよう期待しています。特に未だ決着しないイラン情勢の為に高分子材料の基になるナフサ不足が懸念され、改めて高分子材料、ナノ構造ポリマーの重要性が再認識されています。この難局を乗り越え、更なる発展の年となるよう頑張っていこうではありませんか？

## TPE技術研究会

熱可塑性エラストマー（TPE）は、ゴムのような弾性とプラスチックの成形加工性を併せ持つ特異な高分子材料です。自動車の内装・外装材をはじめ、家電、医療、日用品にいたるまで、その優れたソフトタッチ性や軽量性、熱可塑性由来のリサイクル性が高く評価されてきました。特にカーボンニュートラルへの対応が急務となる現代において、循環型社会を支える有望な高分子材料としての期待はますます高まっております。学術的観点からは、TPEが形成するソフトセグメントとハードセグメントによる「マイクロ相分離構造」は、高分子ナノテクノロジーにおける極めて興味深い対象です。このナノスケールの自己組織化構造をいかに制御し、耐熱性や耐クリープ性、耐疲労性といった実用上の課題を克服していくかという点は、今なお探求しがたい重要な技術的テーマです。

TPEのさらなる発展を目指し、実務に即した技術交流を深める場として、TPE技術研究会では随時法人会員の参加を募集しております。皆様のご参加とご支援を心よりお待ち申し上げます。

URL:<https://ransp.jp/index.html/2026/04/15/20260401-李庭昌/>



李 庭昌

TPE技術研究会 会長  
元 三井・ケマーズ(デュポン)フロロプロダクツ(株)

## マイクロ・ナノ加工研究会



栗原 一真

マイクロ・ナノ加工研究会会長  
独立行政法人産業技術総合研究所  
経営企画本部企画部 産業技術総括調査官

マイクロ・ナノ加工は、自動車・家電・医療部材など、日本の基幹産業を支える部品加工に広く用いられている。本研究会では、これらのマイクロ・ナノ加工技術と、プラスチックに代表される高分子成形品、さらに新たな理論や開発動向について情報交換し、共に学ぶことで、各参加者の競争力向上を目指す。また、交流を深めることで、広範かつ強固なネットワークの構築を図る。これまで国内外の学会において、精密成形に関連する研究は、マイクロ射出成形、ナノインプリント、ロール・ツー・ロール、3Dプリンタ分野へと拡大しており、多くの研究成果が報告されてきた。

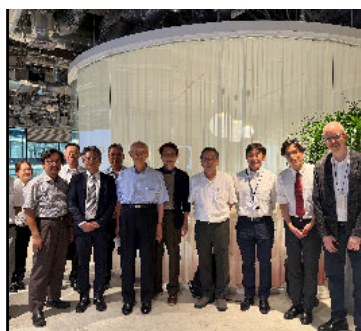
本研究会は、これらの技術を通じてプラスチック成形品の高付加価値化を実現するとともに、参加者同士が今後のものづくりについて活発に議論する場となることを期待している。

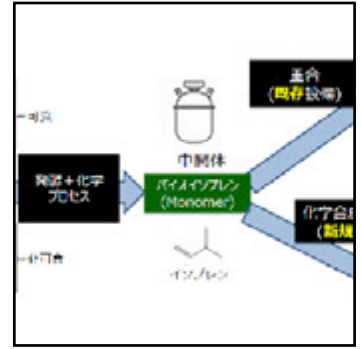
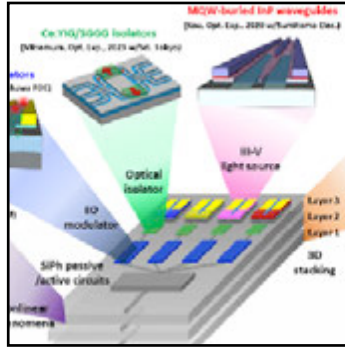
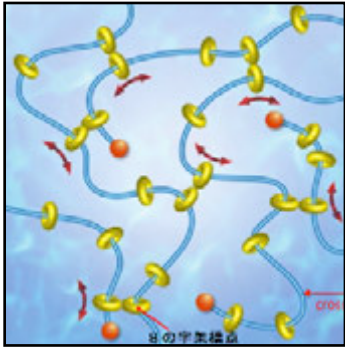
URL:<https://ransp.jp/index.html/2026/04/22/2026年栗原一真/>

### 2025年度研究会行事

2025年度のナノ構造ポリマー研究協会の行事はナノ構造ポリマー研究会は (online:o,hybrid:h,real:r)で実施、結果として、いずれの開催方式でも特に大差なく、TPE技術研究会、マイクロ・ナノ加工研究会がhybridで実施した事を考えると、基本はhybrideとなるのではないかと考える。又、ナノ構造ポリマー研究会は以前のnanowebを加えると9回/年の開催となるが、協会としては負担が多いので2026年度から、以前 (corona前)と同じ6回/年の開催に戻すこととした。9回のナノ構造ポリマー研究会 (全参加者212/214名(前年) ) 5回のTPE技術研究会 (94/66名)、3回のマイクロ・ナノ加工研究会 (55/62名)、全てで(361/342)名の参加者があった。

2025年度事業報告書					
年月日	人数	講演会	演題	講師	所属
<b>ナノ構造ポリマー研究会</b>					
2025/05/13	26	第63回ナノ構造ポリマー研究会 (o)	高分子のサーキュラーエコノミー 日本ゼオンのカーボンニュートラルの取り組み紹介	伊藤 耕三 橋本 貞治	東京大学 日本ゼオン株式会社
2025/07/29	31	第64回ナノ構造ポリマー研究会 (o)	プラスチックリサイクルにおける化学プロセスの役割 資源循環に貢献する自動車リサイクルの現状とこれから	吉岡 敏明 阿部 知和	東北大学 一般社団法人日本自動車工業会
2025/09/18	19	第13回マイクロ・ナノ加工研究会公開講演会(r)	表面微細構造を実現するマイクロ・ナノ加工技術 医療用ARグラスへ向けたナノインプリント加工プロセス 薄膜転写技術による異種材料集積型光チップレット	伊藤 浩志 雨宮 智宏 高 磊	山形大学 東京科学大学 産業技術総合研究所
2025/10/16	20	第20回TPE技術研究会公開講演会(r)	ぜい性から延性を示すさまざまなガラス状高分子材料における溶融粘弾特性 三菱ケミカルにおける重縮合技術を基盤とした低環境負荷高可逆的共置換反応が導くビトリマー性架橋ポリマーの高速	伊藤 麻絵 田中 俊資 高坂 泰弘	金沢大学 三菱ケミカル株式会社 信州大学
2025/10/23	12	第24回ナノ構造ポリマー研究協会交流会(r)	TAKANAWA GATEWAY Link Scholars'Hub現場見学、LiSH説明 化石資源由来化合物のバイオ生産を目指した合成生物学	白井 智量	理化学研究所
2025/11/25	22	第65回ナノ構造ポリマー研究会(o)	環境調和型ナノ 2 複合材料	西野 孝	神戸大学
2026/01/22	15	第66回ナノ構造ポリマー研究会(o)	イオン導電性ポリマーの蓄電池への応用 柔粘性イオン結晶を用いた固体電解質開発の展望	田港 総 藤田 正博	三重大学 上智大学
2026/02/10	43	第19回 NANO/SPE 合同講演会(h)	バイオミメティックスの今、そしてこれから：ヒューマンセントリックから蟲の視点を取り入れたノンヒューマンセント 自然に学ぶ持続可能なものづくり 深海インスパイアード化学：深海極限環境に学ぶマテリアル 生物のくつつき方と材料を考える	穂積 篤 井須 紀文 出口 茂 紙野 圭	産業技術総合研究所 信州大学 海洋研究開発機構 製品評価技術基盤機構
2026/03/12	24	第67回ナノ構造ポリマー研究会(o)	天然ゴム生合成の研究とその応用 X線CT法を用いたゴムの破壊現象観察とその応用	小川紘樹 間下 亮	京都大学 住友ゴム工業
<b>TPE技術研究会(h)</b>					
2025/05/21	21	第92回TPE技術研究会	分子量分布を利用した物性制御技術	木田 拓充	滋賀県立大学
2025/07/15	24	第93回TPE技術研究会	高圧流体混練を利用した高分子複合材料の開発	木原 伸一	広島大学
2025/11/19	16	第94回TPE技術研究会	バイオ1, 3-プロパンジオールの用途開発と今後の展開について	賀来 群雄	株式会社エムケーテック
2026/01/16	17	第95回TPE技術研究会	変形誘起化学反応によって成長するゲル材料	中島 祐	北海道大学
2026/03/09	16	第96回TPE技術研究会	結合交換性架橋樹脂の基礎物性と機能に関する最新事例	林 幹大	名古屋工業大学
<b>マイクロ・ナノ加工研究会(h)</b>					
2025/05/28	18	第33回マイクロ・ナノ加工研究会	光格子時計による相対論的な時空間センシング 見学会：理化学研究所 和光地区 実験室	香取 秀俊	理化学研究所
2025/11/05	18	第34回マイクロ・ナノ加工研究会	「水溶性EUVレジスト・ガス透過性多孔質モールドを活用 見学会：三光合成株式会社 会社紹介、工場見学	竹井 敏	富山県立大学
2026/02/24	19	第35回マイクロ・ナノ加工研究会	選択的薄膜装荷を用いたフォトニック結晶における光機能 (仮)オプトルの光技術 粒子安定化ソフト気液分散体	森竹 勇斗 藤村 康浩 藤井 秀司	東京大学 株式会社オプトル 大阪工業大学



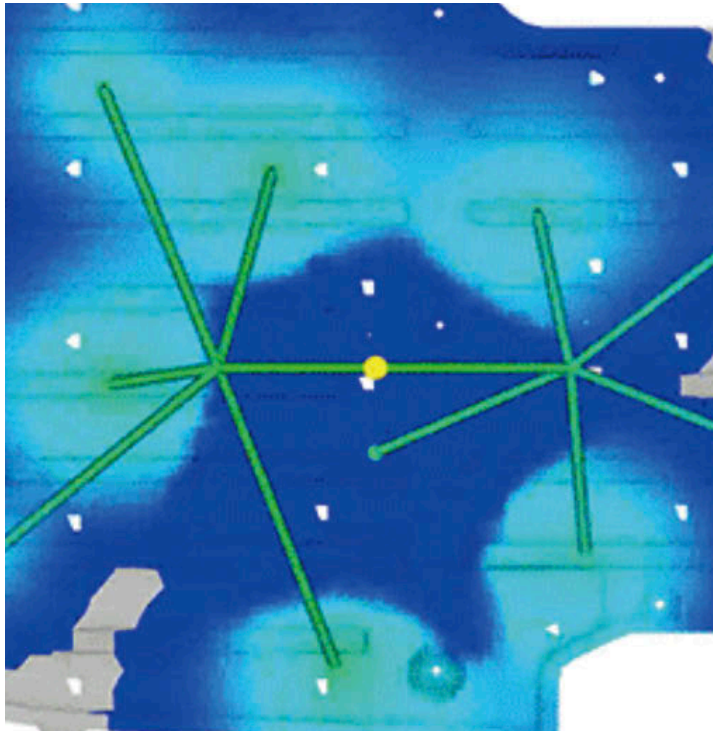


2025年度正会員名簿 (2026年3月31日)

1	伊澤 楨一	日本科学技術者協会	2001031401
2	田代 昌秀	MSAI	2001031411
3	加納 義久	古河電気工業株式会社	2001041601
4	倉内 紀雄	倉内技術経営ラボ	2001042305
5	西 敏夫	東工大名誉教授, 東大名誉教授	2001071301
6	秋山 三郎	東京農工大学名誉教授	2001110701
7	野尻 和紀	住友ゴム工業株式会社	2006110702
8	竹村 泰彦	一般社団法人 日本ゴム協会・ゴム技術フ	2007031201
9	伊藤 浩志	山形大学	2008031001
10	斉藤 拓	東京農工大学	2010052201
11	幸 敏	上海錦湖日麗塑料有限公司	2010052502
12	橋本 貞治	日本ゼオン株式会社	2011040101
13	久保山 敬一	東京科学大学	2012030102
14	中嶋 健	東京科学大学	2012041201
15	筆本 啓之	株式会社 プリヂストン	2012071101
16	重野 謙二	特定非営利活動法人 ナノ構造ポリマー研	2013030801
17	鈴木 博三		2013040401
18	根本 昭彦	山形大学	2013111001
19	栗原 一直	国立研究開発法人産業技術総合研究所	2014040102
20	吉田 優香	(有) シーエムシー・リサーチ	2014040104
21	白杵 有光		2014040105
22	穂苺 遼平	国立研究開発法人産業技術総合研究所	2016040105
23	松井 悦郎	カレントス株式会社	2017070101
24	徳満 勝久	滋賀県立大学	2018011701
25	伊倉 幸広	古河電気工業株式会社	2018041801
26	小尾 直紀		2020083101
27	青木 憲治	静岡大学	2021050101
28	田中 靖昭	豊田合成株式会社	2022040101
29	宮本 政義		2022060401
30	馬場 孝仁	nostv corporation	2023040101
31	仙波 健	京都市産業技術研究所	2023040102
32	種橋信哉	株式会社プッス・ジャパン	2023040103
33	岩井 俊憲	株式会社DIK	2024040101
34	伊藤耕三	東京大学	2024040101
35	福森 健三	公益財団法人名古屋産業科学研究所	2025042101
36	鈴木幹久	リッパー株式会社	2025120401

会計報告 (2026・03・31)

科目	費目	2025年度決算(円)	
収入の部			
会費	年会費		2,318,568
事業収入			
	ナノ構造ポリマー研究会		325,055
	TPE技術研究会		228,340
	MNM研究会		202380
			755,775
前期繰越			3,543,435
当期収入			3,074,343
支出の部			
事業費			
	ナノ構造ポリマー研究会		952,466
	TPE技術研究会		470,940
	MNM研究会		450,631
			1,874,037
管理費			1,575,571
当期支出			3,449,608
当期収支			-375,265
前期繰越			3,543,435
次期繰越			3,168,170



法人会員 (TPE)

1	黒田 賢一	住友ゴム工業 (株)	2006110701
2	畑 幸長	旭化成 (株)	2008022001
3	古谷 洋介	住友化学 (株)	2010011801
4	橋本 貞治	日本ゼオン (株)	2011040101
5	筆本 啓之	(株) プリヂストン	2012070101
6	李 庭昌	三井・ケマーズ フロロプロダクツ (株)	2015012701
7	田添 佳歩	(株) ENEOSマテリアル	2016040102

法人会員 (MNM)

1	佐藤 公一	日本特殊光学樹脂株式会社	2016040103
2	伊倉 幸広	古河電気工業株式会社	2018041801
3	松澤 隆	池上金型工業株式会社	2018101001
4	宍戸 啓太	藤森工業株式会社	2020040101
5	茂木 篤志	三菱ガス化学株式会社	2021120101
6	播戸 一樹	東亜電気工業株式会社	2023040104

編集後記 いよいよ、AIの活躍が本格化してきました。もっとも上手にAIを利用し始めたのは、当たり前の事ですが、computer programの領域です。 各種のSNSやprogramsの改良等に力を発揮し始めている様です。最近私どもの身近でもAIを上手に使って、文書のformatを完結させたり、文章のミスを見つけたり、効率化に寄与してくれています。 もう少し上手に使えると、協会運営も効率化が進むでしょうね。 \_\_\_mt